



北条地区及びつくば市との広域疎開訓練

コミュニティ安全対策室

室長 吉川 公一

夏休みを利用してちびっこ災害疎開体験を実施しました。北条コミュニティが防災科学研究所と共同で取り組んでいる防災グリーンツーリズムの一環です。

七人の子供たちとその父兄、コミュニティと総代会、同行した北条市民レポーターのスタッフなど、総勢二十五人が二泊三日の体験交流を楽しんできました。

疎開という言葉は遠い過去のものという感じがしますが、大規模災害の多発が新たな課題として、地域相互支援の対応を迫られてきています。

その大事な研究の実証実験がこの交流事業です。今回は藤沢市とつくば市、北条地区が合同で災害時の炊

き出訓練や意見交換などを行いました。お寺の本堂に泊まった感想はどうだったでしょうか。

つくばといえば、日本の頭脳集団が集まっている研究都市です。宇宙センターをはじめ、六か所もの研究所を見学してちびっこ博士の称号までいただけてきました。

世界最大級のプラネタリウムで見た小惑星探査機HAYABUSAの物語は感動で涙ぐむほどでした。

お土産にDVDを持ち帰りましたので機会を見てプロジェクトの大画面と5.1チャンネル音響の大迫力映画会を企画します。ご期待ください。

ちびっこたちの感想も含め、出番となった市民レポーターの記事で山なみ特集号を組みましたので皆さま

北条地区
コミュニティ協会
振興協議会
TEL25-3355

おかじま そうた

からも誌上参加して頂けたら幸いです。

実証実験二泊三日の足どり

市民レポーター 小黒 文夫

朝六時、雨空の下「ちびっこ災害疎開体験講座」に園児を含め総勢二十五名が北条コミセンを出発し、関越道・外環・常磐道を経由して、予定通り十二時前に茨城県つくば市に到着しました。

つくば学園都市と言われるだけに、整備された道路の左右は筑波大学の付属施設、国等の各種研究機関の施設が立ち並んでいます。

最初の見学場所は国土地理院「地図と測量の科学館」、館内一階フロアには日本地図が描かれており、赤青のメガネをかけると同尺が立体に見えます。米山を見つければ「ここが北条?」。普段は目にするのではない各種地図や測量器などが沢山展示され、なかでも映画「剣岳点の記」で注目を浴びた三角点の実物模型も展示されており興味を新た

にするともに、改めて地図の重要性を認識しました。屋外の地球広場には二十万分の一に造られた地球模型(一部があり、日本の上で記念写真をパチリ。「防災科学技術研究所」に移動して子供達は所内見学、大人は「災害ボランティアマップシステム」の検証」というテーマで、つくば地区民・神奈川県藤沢市六会地区民の方たちと熱心な討論、地元では当然なことも外部から見るとまだ不足部分があり、今後の課題も確認できました。災害時に限らず、日常的に人々のふれあい・絆が重要だと再認識した時間でした。

二日は、会場を「ゆかりの森」宿舎「あかまつ」に移し、「ご当地の食材を持ち寄り、「防災炊き出しコンテスト」が行われ、三地区のアイデアレシピを披露。甲乙つけがたいことから三地区とも優勝ということになりました。ちなみに北条のレシピは、車麩の揚げ煮(しモン風味)、鮭汁、ツラフナす揚げ浸しの三品でした。また車椅子の親子も加わり、パーベキューを楽しみながら夜遅くまで話の輪が消えませんでした。

二日目は今企画の一番人気JAXA「筑波宇宙センター」。完成したばかりの展示館には「きぼつ」をはじめ過去・現在使用されたロケット・人工衛星の実物大の模型、宇宙空間での実験訓練施設、そしてロケット打ち上げ時の映像と音響の体験はものすごい迫力でした。残念なこ

とは、はやぶさのカプセル展示が二日後からの事。最後は宇宙食の土産をゲット。「産業総合研究所」の「地質標本館」は地質を通して地球と人との関わり合いを理解することでしたが、少しマニアックだったようです。「サイエンス・スクエア」は各方面の最先端技術がゲーム感覚で体験でき、子供も大人も夢中になりました。

「つくばエキスポセンター」では世界最大級プラネタリウムで「はやぶさ」の探検の旅がCGでドームいっぱいになり、その臨場感あふれる姿に感激、寝た人なし。疎開宿泊体験のため、「曹洞宗高雲寺」に午後九時過ぎ到着、子供たちは寝袋へ、大人は健康面を配慮して布団へ、おやすみなさい。

三日目、六時起床、宿泊の御礼を込めて清掃と境内の草取り。車中でおにぎりの朝食を食べながら移動、今回大変お世話になった「ラチオつくば」のスタジオ見学、入室と同時に地元の情報発信基地にふさわしい雰囲気でした。国立科学博物館「つくば植物園」広大な敷地に約三千種類の植物が植えられているとの事でしたが、(私は)暑さで全部は見学できませんでした。

とにかく元気な子どもたちに引っ張られて、三日間の全日程を無事済ませ午後七時過ぎ広田に到着。ありがとございませ